

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

こどもたちと過ごす時間が、 元気の源

TAMARIBA / えんじゅや 縁寿屋

えんどう やすこ 遠藤 靖子 さん(42)

「自分がこどもの頃に感じたワクワクを、今のこどもたちに届けたい」。そう話すのは、宮城野区岩切で、多世代が集う商業施設「TAMARIBA」と、その一角にある駄菓子屋「縁寿屋」を家族とともに経営する遠藤さんです。縁寿屋はいつも、お小遣いを片手に立ち寄るこどもたちや、懐かしそうに買い物を楽しむ大人たちでにぎわいます。遠藤さんは「子育て世代の転入が増えている岩切のまちで、誰もが気軽に足を運び、相談やおしゃべりができる“第二の家”のような場所にしたい」と、縁寿屋を訪れる一人ひとりに声をかけることを心掛けています。

縁寿屋を開くことを決めた背景には、二児の母である遠藤さんの我が子への思いがありました。自分のこどもにどんな経験をしてほしいかを考えたとき、思い出したのは自分が幼いころに行った近所の駄菓子屋や、地域のお祭りでの楽しい時間でした。「親や学校の先生だけでなく、地域の人たちとも関わりながらいろいろな体験をしてほしい」。その思いが、縁寿屋の店づくりにつながっています。

2023年のオープンから3年。遠藤さんは、日々、縁寿屋を訪れるこどもたちと向き合ってきました。ごみをポイ捨てするこどもがいれば根気強くマナーを教え、お金を使いすぎているこどもがいればそっとアドバイスをすることも。恋の悩みを打ち明けられれば、気持ちに寄り添いながら話を聞くこともあります。「大変だなんて思うときもあるけど、こどもたちとの活気あふれる日常や、ふと垣間見える成長が、私の活力です」と、遠藤さんは微笑みます。

TAMARIBA / 縁寿屋

TAMARIBAの1階には、縁寿屋とカフェ、2階には美容室があります。施設全体は夫妻で経営し、縁寿屋の運営には義姉妹も参画。それぞれの得意分野を活かしながら、新たな地域交流の場を育んでいます。

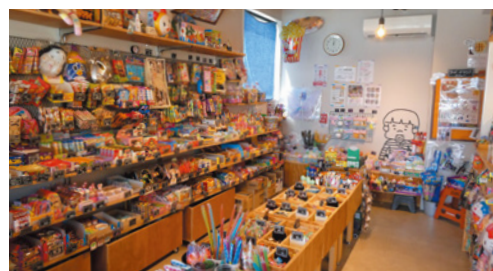


▲Instagram

住所: 仙台市宮城野区岩切字今市103 TAMARIBA1F



▲TAMARIBAの外観



▲約500種類以上の駄菓子が並ぶ縁寿屋の店内



～読者の目線から～社会の「気になる○○」

市民活動における熊対策をみんなで考えたい

GARDEN of RIVER, SENDAI project みやぎ のりこ 宮崎 典子さん

私は、仙台のシンボルである広瀬川の河原を手入れする「GARDEN of RIVER, SENDAI project」という活動をしています。自宅の庭のように川沿いを除草・清掃し、生き物を観察したり、コーヒーを飲んだり、多くの人たちと川辺を楽しむ暮らしができたと思っています。

今、活動をする中で怖いのが熊です。仙台市では、山間部だけでなく、道路や住宅地周辺でも熊の目撃情報があります。自分なりに安全対策を試行錯誤していますが、他の市民活動団体の方々はどうしているのかと思い、サポセンと情報交換会を企画しました。当日は、里山保全や森林管理などをする団体、市環境局の方などが集まりました。まず、皆さんと不安な気持ちを共有できて良かったです。また、熊の特性や出没情報の入手方法などの情報交換、熊が街に降りて来なくてもすむような、資源豊かな森づくりについて意見交換もできました。住民が学び考え、対策を身に着けていくことが自然と人間の関わりにおいて大切なのかもしれません。今後も市民による環境活動が続けられるよう、皆さんと知恵を出し合っていきたいです。



▲7月に開催した「市民活動 クマ対策情報交換会」



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

当事者の声から知る、高次脳機能障害

高次脳機能障害は、脳卒中や交通事故などによって、脳を損傷した際の後遺症として現れる障がいです。症状は様々で、記憶できない、段取りを立てられない、言葉が出てこない、怒りっぽくなるなどがあります。外見からはわかりづらく、会話や受け答えも一見問題なく見えるため、「見えない障がい」とも言われています。

一般社団法人どんまいネットみやぎは、県内に住む20人の高次脳機能障害当事者一人ひとりの人生を通して、障がいを自分事として考えてもらおうと、ドキュメンタリー動画を制作しています。現在YouTubeで8作を公開中です。当事者の苦悩や困難、今の自分を受け入れることから生まれた気づき、支援者とのつながりなどを伝えています。自身や大切な人が高次脳機能障害になった時、また、当事者と出会った時のために、知ることから始めてみませんか？

どんまいネットみやぎ映像プロジェクト

HP▶



▲動画のサムネイルをもとに制作した案内ポスター

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月14日(水)、28日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2026年10月1日

デザイン PEACE Inc.

[X]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

